※令和４年度以降入学生用

学校番号	401

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	造形演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

■生涯学習社会の一層の進展に対応して，美術が心豊かな生き方を実現するために役立っていることに気付くとともに，よりよいものを生み出そうとする自覚を高め，美術の社会における役割，また，日本及び諸外国の美術文化についての理解を深められるよう知識と技能を習得する。
■表現と鑑賞の範囲を広げ，自己の主体的な考えや判断をより多様で普遍的な視野から創造活動に生かして自己の価値意識を主体的に発信・伝達できるよう、思考面でも技術面でもより発展的な課題を設定する。
■作品の制作が中心となるので、継続的な取り組みと作品の完成・提出が不可欠となる。また、制作過程ごとの振り返りシートやキャプションシート、鑑賞ワークシートなど文章表記によるレポート形式の課題も求める。

2　学習の到達目標

・美術の創造的な諸活動を通して，美的体験を豊かにし，生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに，感性を高め，個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし，美術文化について理解を深める。
・美術Ⅰで学んだ幅広い美的体験の上に立ち，創造的な美術の諸活動を通して，自然や自己，社会などを深く見つめ表現する能力や，美術作品を多様な視点から分析し理解したり，心豊かな生き方にかかわる美術の働きを理解したりするなどの鑑賞の能力を伸ばすことをねらいとしている。特に，生徒自らが課題を見付け解決する能力を養うため，主体性や個性を尊重し，生徒のよさや美意識を生かした学習活動になるよう配慮し，感性を高め，美術を愛好する心情をより深いものにしていくことを重視している。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化と豊かに関わり、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	基礎デッサン	形の正確な取り方とトーンの付け方、質感表現などについて、静物デッサンと人物デッサンの２課題行う。	a:静物、人の構造について関心を持ち、理解する。 b:静物、人の構造を理解しながら描写し、創造的に制作できる。 c: 基本的なの表現技法や効果について関心を持ち、創作活動に主体的に取り組むとともに、見方や感じ方を深めている。	作品	制作シート	キャプションシート 合評会 観察
	デザイン演習	観察力・発想力・表現力を磨く五感を使って情報収集しアイデアを形にする課題に取り組む。	a:デザインの基礎理解・政策技能デザインメソッドの考え方を理解している。記録観察が適切にできる。 制作過程を踏まえた表現ができる。 b:観察結果をもとに目的をもって構想している。自分なりの視点と工夫がみられコンセプトが一致している。 c:作品の主題や意図の表現を考えながら主体的に制作するとともに、見方や感じ方を深めている。	ワークシート スケッチ 制作メモ 作品	コンセプトシート スケッチ 作品	キャプションシート 合評振り返り
2	油画	描画材料の扱い方を学び、また、これまでのドローイングを通して捉えた自身の感性を主題に結びつけ、絵画表現へと展開させる。	a:油彩絵具の特性や歴史的背景などについて知識と理解を深める。 b:設定した主題について構想を練るとともに、視覚的効果やテーマ性を考えながら、画材の特性を生かして表現する。 c:作品の主題や意図の表現を考えながら主体的に制作するとともに、見方や感じ方を深めている。	作品	アイデアスケッチ 制作シート	キャプションシート 合評会 観察

※令和４年度以降入学生用

	立体演習	立体の芸術作品について学び、様々な材料を用いて制作する。	a:立体作品について鑑賞しながら材料と表現の関係について知識と理解を深めている。 b:感じ取ったことや考えたことを基に立体作品の構想を練り、その用途に応じた形態や色彩、構造について考え、創造的な表現の構想を練っている。 c:立体造形について関心を持ち、創作活動に主体的に取り組むとともに、見方や感じ方を深めている。	作品	アイデアスケッチ 制作シート	キャプションシート 合評会 観察
3	鑑賞	美術史や美術理論を学び、作品の造形的な側面、歴史的な側面などから分析する力を養い、造形表現への理解を深める。	a:鑑賞を通して美術作品と歴史的背景について知識と理解を深めている。 b:鑑賞を通して感じたことや考えたことを言語化して表現できている。 c: 美術の表現や美術文化の変遷について主体的に鑑賞し、見方や感じ方を深めている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート 意見交換会 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度